

《主な出席者》：（特別協力）株式会社 商船三井 社団法人 日本外交協会

（主 賓）駐日南アフリカ共和国大使館
（主 賓）外務省、寄贈元自治体図書館関係者、
日本の移動図書館車が、南アフリカで第二の人生

日時：2009年10月1日（木） 場所：東京晴海埠頭（社団法人日本外交協会車両一時保管所）

《式次第》 各来賓者スピーチ、記念撮影など

2009年9月19日

《会場案内》 別紙をご参照。NPO法人 Sapesi-Japan 「南アフリカ初等教育支援の会」



出港待ちの各図書館車。

NPO法人 Sapesi-Japan（読み：サペシ・ジャパン）は、2009年10月1日（木）に、全国各地から寄贈された12台の移動図書館車の出港式を催すこととなりました。

今回の寄贈図書館車は、毎年初等教育支援の会」(以下、サペシ・ジャパン)は、2009年9月下旬から10月上旬の2回に分けて横浜港から出港。全国の各教育庁の内、既に事業活動が展開されている4州に寄贈します。内訳は、西ケープ州に3台、フリーステート州に4台、クワズルー・ナタール州に4台、そしてハウテング州に1台となります。

2005年より、南アフリカで移動図書館車活動を行ってきたこのプロジェクトは、南アフリカ共和国教育省より要請を受けたことから始まりました。そして、その実現のため、在南アフリカ共和国日本大使館を通じて、外務省より草の根・人間の安全保障無償資金協力を受け、一方、日本側では、各地方自治体より社団法人日本外交協会の協力で集められた12台の移動図書館車を、この度、株式会社商船三井の特別なご支援により、南アフリカに海上運送できることになりました。日本の移動図書館車が、南アフリカの子ども達の教育のため、第二の人生として活躍します。



海上運送にご協力頂いたMOL自動車船。

南アフリカには、現在4州21台の図書館車が学校巡回をしており、更にこの活動を拡大すべく、南アNPOのSAPESIと日本の姉妹NPOのSapesi-Japanは、2014年までの6年間に100台を寄贈し、全9州96の教育学区全てでの図書館車活動展開、及び学校図書普及活動の発展に向けて支援活動を継続してゆきます。

ソニーグループからは英語圏の子会社 6 社の社員より、提供を受けた中古児童書を寄贈や、現地語の伝承の為の現地語書籍の購入援助を頂いており、寄贈した児童書の累計数は、約 3 万冊にのぼります。



ソニーグループから寄贈された本を早速手にする生徒。

Sapesi-Japan は南アフリカ SAPESI と共に、これからも識字率の向上と学校図書 の普及に、移動図書館車と書籍を初等教育支援ツールとして活用し、南ア初等教育の改善と事業発展に努めてまいります。

『NPO 法人 Sapesi-Japan 「南アフリカ初等教育支援の会」』について

2006 年 8 月、南アフリカにて設立された NPO SAPESI (South African Primary Support Initiative) の日本側のパートナーとして、2008 年 12 月に設立。各企業や団体からの資金援助や助成金を頂き、社団法人日本外交協会や株式会社商船三井との協力を得て、日本で活躍した中古図書館車の集車、輸出前整備、輸出手続などの活動を行っている。

『南アフリカ移動図書館車プロジェクト』について

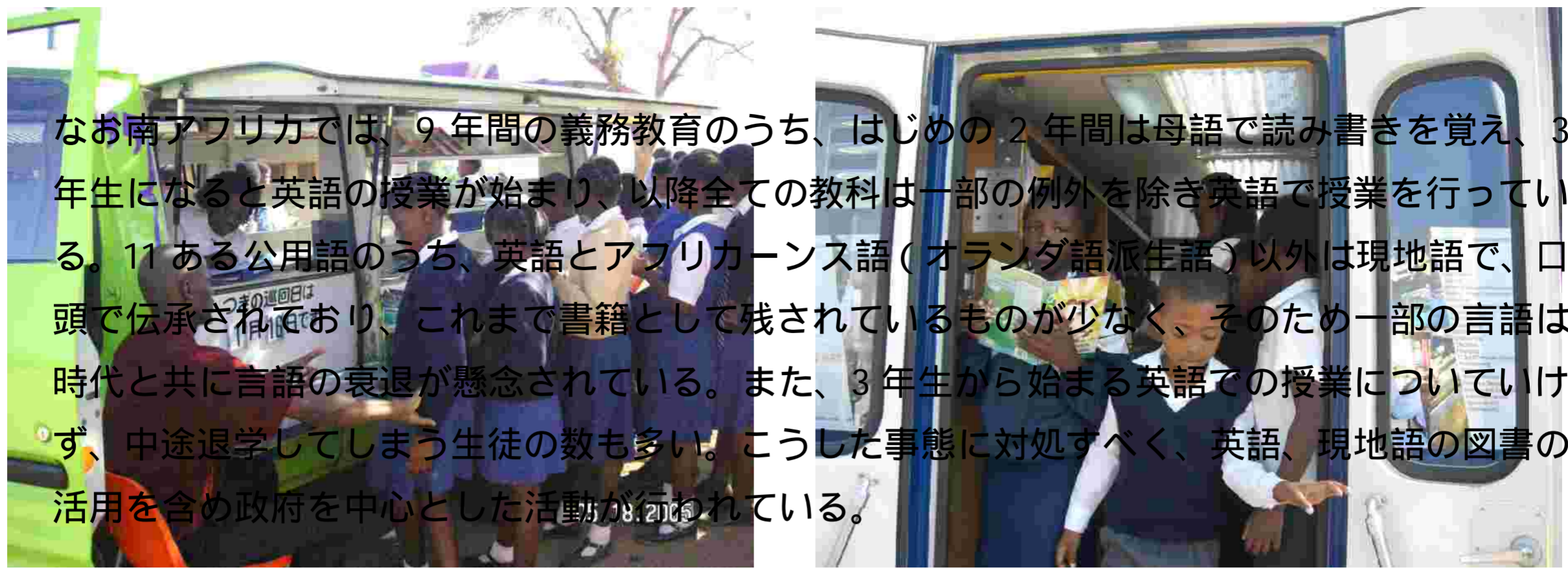
南アフリカ教育省と TAAA (NGO アジア・アフリカと共に歩む会、2007 年に撤退)、SAPESI との共同プロジェクト (2005 年発足)。南アフリカ教育省が推進する識字力向上計画の一環。日本で不要になった中古図書館車を譲り受けて南アフリカに送付し、寄贈を受けた南アフリカの各州の教育庁が運行し、各地に点在する図書室のない小学校・中学校を廻り、学生および教員に対して本の貸し出しを行う。

図書館車は、1 学期に 2 度 (南アフリカの学校は 4 学期制) 対象校を巡回し、本の貸し出し、回収を行っている。図書館車には図書館司書が同乗しており、各校の教員に対して本の選び方や授業での活用方法などについて指導、助言する。このプロジェクトにより、子どもたちがさまざまな本に接することができるだけでなく、教員たちが本の活用方法を学び、教育の技能向上に役立てている。



遠隔地でも大活躍な移動図書館車 (学校にて)。

南アフリカの初等教育の現状について、就学率は 87% を超えていますが、都市部と郊外部のインフラ格差が大変大きいため、特に貧困層の多い都市スラム地域や地方遠隔地では教材としての書籍を触れあう機会が、大変困難なのが現状です。英語を含めた 11 ある公用語の識字教育向上についても、同様にこれからの課題となっています。



なお南アフリカでは、9年間の義務教育のうち、はじめの2年間は母語で読み書きを覚え、3年生になると英語の授業が始まり、以降全ての教科は一部の例外を除き英語で授業を行っている。11ある公用語のうち、英語とアフリカンス語（オランダ語派生語）以外は現地語で、口頭で伝承されており、これまで書籍として残されているものが少なく、そのため一部の言語は時代と共に言語の衰退が懸念されている。また、3年生から始まる英語での授業についていけず、中途退学してしまう生徒の数も多い。こうした事態に対処すべく、英語、現地語の図書の利用を含め政府を中心とした活動が行われている。

南アフリカ移動図書館車活動の日々 (教師も、生徒も、司書も、スタッフも)



岩手 一戸町	3台	そよかぜ号 (1,794)	1986	日産1,650	フリー・ステア (24,400)
徳島市	9台	いずみ号 (6,099)	1999	日産1,549	フリー・ステア (4,964)
徳島市	12台	そよかぜ号 (6,099)	1999	三菱 (388,042)	フリー・ステア (2,848,542)
和歌山 かつらぎ町	5台	ふれあい号 (2,390)	1993	三菱 (7,996)	輸出寄贈先 (州教育省) (66,710)
埼玉 さいたま市 桜構和	5台	ひだまり号 (2,390)	1993	三菱 (68,216)	西ケ- (3,538)
岩手 山田町	21台	はまなす号 (3,993)	1993	日産5,802	西ケ- (3,651)
これまでの活動実績 (2008年度統計)				日産4,225	(内のフリー・ステア (2,217))
埼玉 州名 越市	台数	やまぶき	訪問校数	1995	対象教員数
北海道 札幌市	4台	概要ゆい号 (1,584)	1984	三菱ふそ (607)	フリー・ステア (7,577)
埼玉 鳩ヶ谷市	2台	さわやか号 (1,529)	1985	三菱 (34,908)	フリー・ステア (68,327)
兵庫 赤穂市	2台	うなちどい号 (1,035)	1985	日産1,650	フリー・ステア (4,000)

SAPESI
South African Primary Education Support Initiative
Mobile Library Project

特定非営利活動法人 Sapesi-Japan
代表 理事長 蓮 沼 忠
設立 2008年12月
《連絡先》 〒113-0034



南アフリカでは、本も図書館車も待っています。

東京都文京区湯島 2-2-3 日本綜合地所御茶ノ水ビル 302号
TEL & FAX 03-5684-3807 info@sapesi-japan.org <http://www.sapesi-japan.org>
事務局 武藤 豊 (080-2043-9602、ymuto@sapesi-japan.org)